

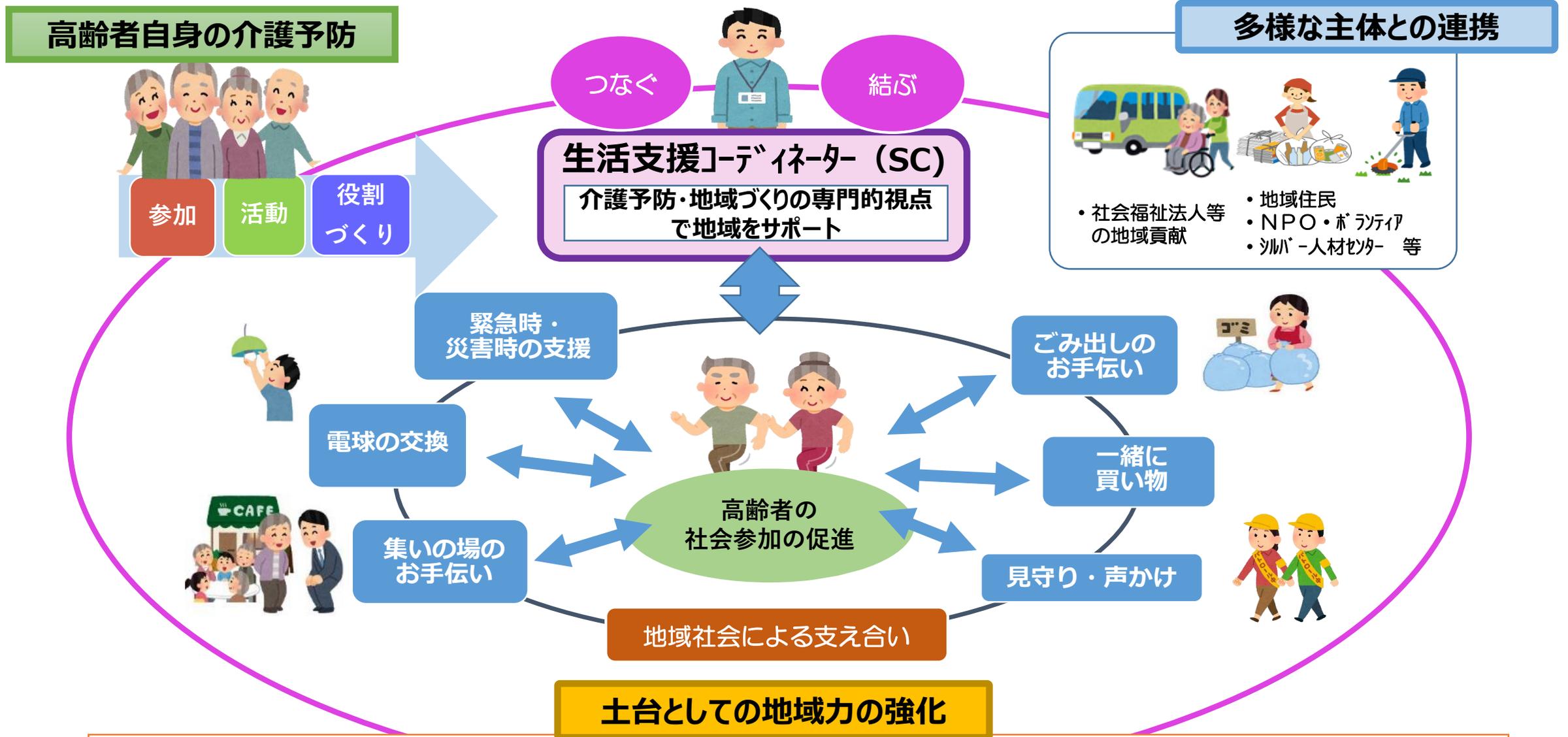
令和5年度 長崎市地域包括ケア推進協議会  
第1回 予防・生活支援部会

資料2

議題（2）取組状況について

## 生活支援体制づくりについて

# 生活支援体制整備 ～地域での支え合い体制づくり～



～「他人事」ではなく「我が事」と考える地域づくり～

「地域コミュニティを支えるしくみ」による地域づくりの醸成に併せて「地域の課題は地域で解決する」取組みが進んでいる

# 生活支援コーディネーター 活動事例① (第2層SCからの報告書参照)

## A地区 (東長崎、日見・橘、桜馬場、片淵・長崎、小島・茂木)



### 高城台地区における買い物支援の体制づくり

高城台地域コミュニティ連絡協議会の高齢者部会と連携し、買い物支援体制づくりに着手。高齢者に向けた買い物支援ニーズのアンケート調査、買い物支援先進地視察を行った。アンケート調査では高城台に住む高齢者が持つ悩みを細かく把握できるようアンケート内容についてアドバイス。先進地視察については、SCが把握している情報から視察先を紹介し、日程や視察スケジュール等の調整を行った。視察後、部会代表者と連携し、R4年度の取組みと今後の展望を記した1冊の冊子を作成し、高城台に住む高齢者に配布した。

## B地区 (西部、岩屋、滑石・横尾、三重・外海、琴海)



### 水の浦地区の外出 (買い物) 支援サービスの創出

高齢者の免許返納に伴う買い物などの移動手段が少なくなることについて自治会長と相談し、福祉施設へ車両やドライバー等の協力要請を行うなど、しくみづくりについて活動。また各自治会長方へ、ささえあいのしくみづくりがなぜ必要になるのか説明する場を設け、しくみづくりについて機運の醸成と各関係機関との連携強化を行う。活動するにあたり、保険の確認や公共交通機関への通知、広報の方法などを確認している。

# 生活支援コーディネーター 活動事例② (第2層SCからの報告書参照)

## C地区 (大浦、戸町・小ヶ倉、土井首、深堀・香焼、南部)



### 伊王島地区 お買い物ツアー

伊王島地区高齢者見守りネットワークと地元のNPO法人、地元の企業が協力して、企業所有のバスを利用し、75歳以上の住民を近隣のスーパーマーケットに連れていくお買い物ツアー。実施に向けて、生活支援コーディネーターも会議に参加し協議を重ねている。  
また、保険加入の手続きやお買い物のサポートなどで後方支援も行っている。

## D地区 (江平・山里、西浦上・三川、緑が丘、淵、小江原・式見)



### ニーズと資源のマッチング

地域におけるボランティア団体や自治会、高齢者サロン等より、「せっかくスマホを買ったのに使い方が分からない」などの生活支援ニーズを把握。  
それに対して通信会社の活動をマッチングさせ、スマホ講座を各地域で開催した。地域の人からの反応も好評である。  
加えて、社会福祉協議会にてスマホの基本的な使い方や様々なオンライン手続きの利用方法まで学ぶ機会としてスマホ教室を月1回定期開催している。

# 「地域コミュニティを支えるしくみ」による地域づくりの醸成

## ●地域コミュニティ連絡協議会設立地区 37地区

地域の課題解決に向けて様々な事業に取り組んでいます

南長崎、茂木、土井首、深堀、式見、横尾、西北、戸町、蚊焼、西町、野母崎樺島、北陽、福田、大園、池島、晴海台、香焼、西城山、高尾、高島、脇岬、仁田、高城台、桜が丘、野母、北大浦、橘、日見、古賀、上長崎、矢上、伊王島、手熊、高浜、形上、村松、長浦

## ●準備委員会設立地区 14地区

地域コミュニティ連絡協議会設立に向けた話し合いがスタート

出津、鳴見台、西山台、東大浦、稲佐、尾戸、伊良林、浪の平、川平、愛宕、小ヶ倉、戸石、三重、畝刈

( R5年7月6日現在)

地域コミュニティ連絡協議会で取り組んでいる  
支え合い活動もあります



地域で活動する各種団体が連携して、自主的に地域課題の解決を目指す土壌（枠組みや体制づくり）ができてきた。

# 地域共生社会に向けた取組みについて

# 個別相談に対する支援（令和4年度実績）

## 新規相談件数(要援護者)

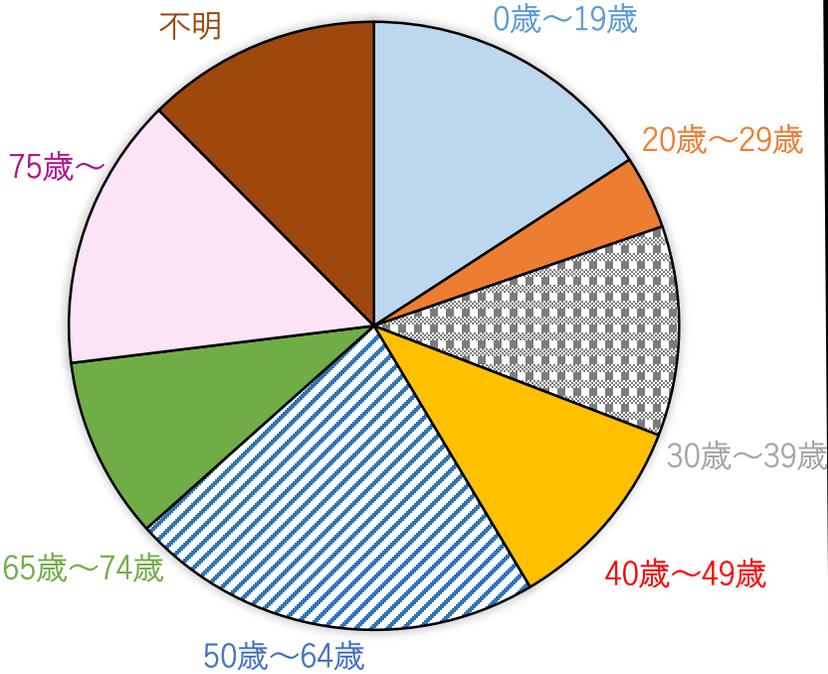
| 多機関別 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|------|------|------|------|
| 南多機関 | 162  | 120  | 178  |
| 北多機関 | 181  | 226  | 192  |
| 合計   | 343  | 346  | 370  |

## 継続支援回数(要援護者世帯)

| 多機関別 | R2年度  | R3年度  | R4年度  |
|------|-------|-------|-------|
| 南多機関 | 1,759 | 1,603 | 2,067 |
| 北多機関 | 1,102 | 1,523 | 1,529 |
| 合計   | 2,861 | 3,126 | 3,596 |

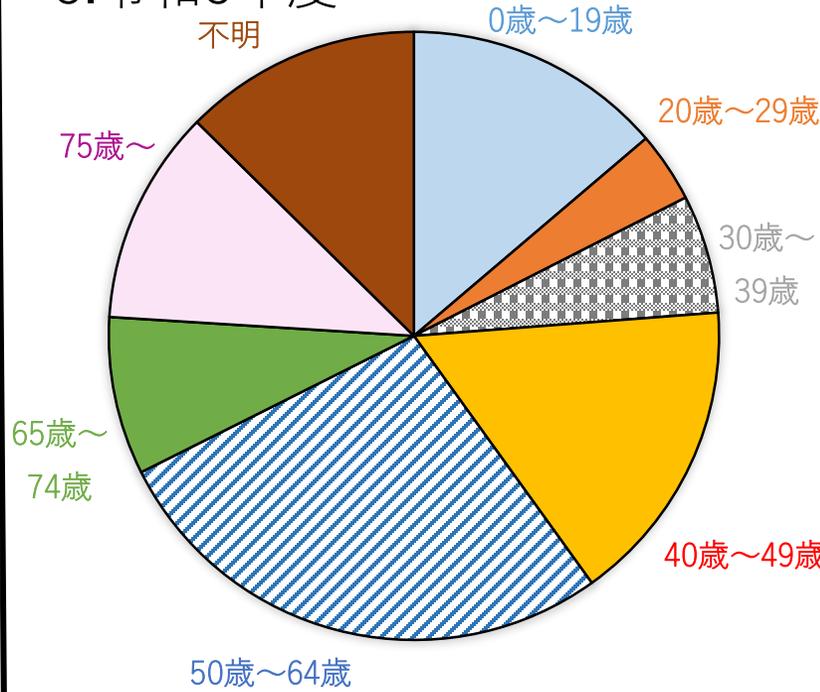
# 要援護者の年代別割合の推移（令和2年度～令和4年度）

## 2. 令和2年度



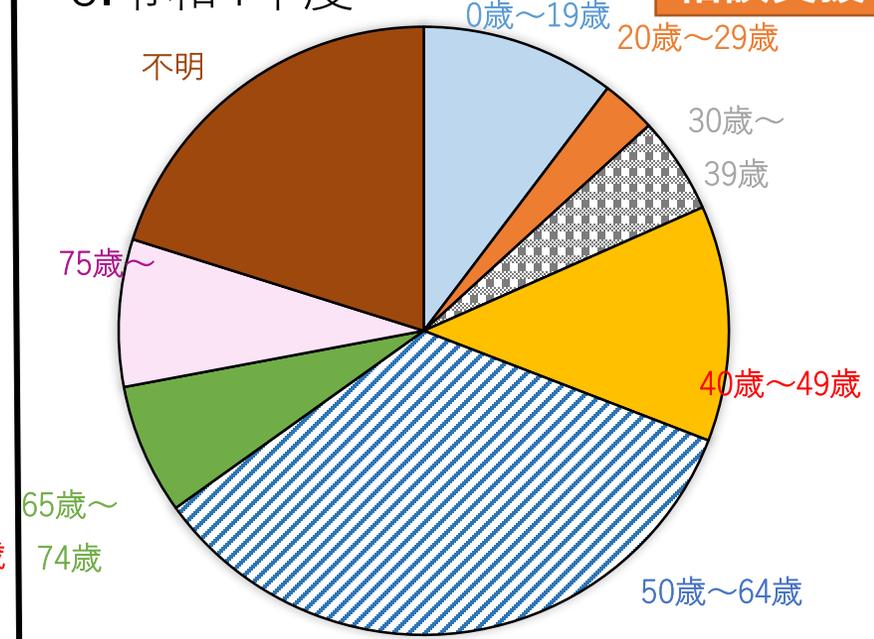
| 年齢区分    | 割合 (%) |
|---------|--------|
| 0歳～19歳  | 15.8   |
| 20歳～29歳 | 3.9    |
| 30歳～39歳 | 11.2   |
| 40歳～49歳 | 10.6   |
| 50歳～64歳 | 21.9   |
| 65歳～74歳 | 9.7    |
| 75歳以上   | 14.5   |
| 不明      | 12.5   |

## 3. 令和3年度



| 年齢区分    | 割合 (%) |
|---------|--------|
| 0歳～19歳  | 13.8   |
| 20歳～29歳 | 3.7    |
| 30歳～39歳 | 6.3    |
| 40歳～49歳 | 16.3   |
| 50歳～64歳 | 27.5   |
| 65歳～74歳 | 8.4    |
| 75歳以上   | 11.4   |
| 不明      | 12.6   |

## 3. 令和4年度



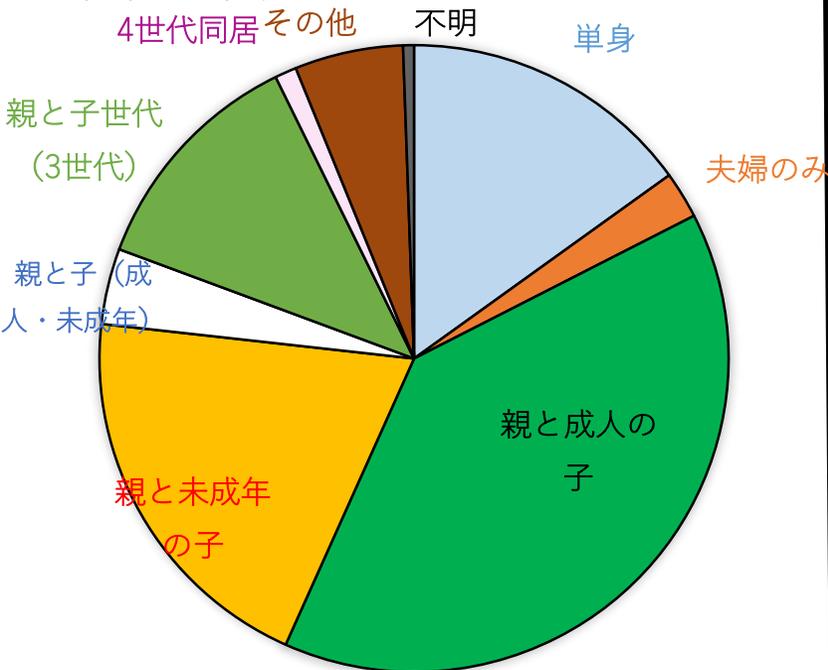
| 年齢区分    | 割合 (%) |
|---------|--------|
| 0歳～19歳  | 10.3   |
| 20歳～29歳 | 2.9    |
| 30歳～39歳 | 5.1    |
| 40歳～49歳 | 12.5   |
| 50歳～64歳 | 34.2   |
| 65歳～74歳 | 6.9    |
| 75歳以上   | 7.8    |
| 不明      | 20.1   |

相談支援

# 要援護世帯の構成員別割合（令和2年度～令和4年度）

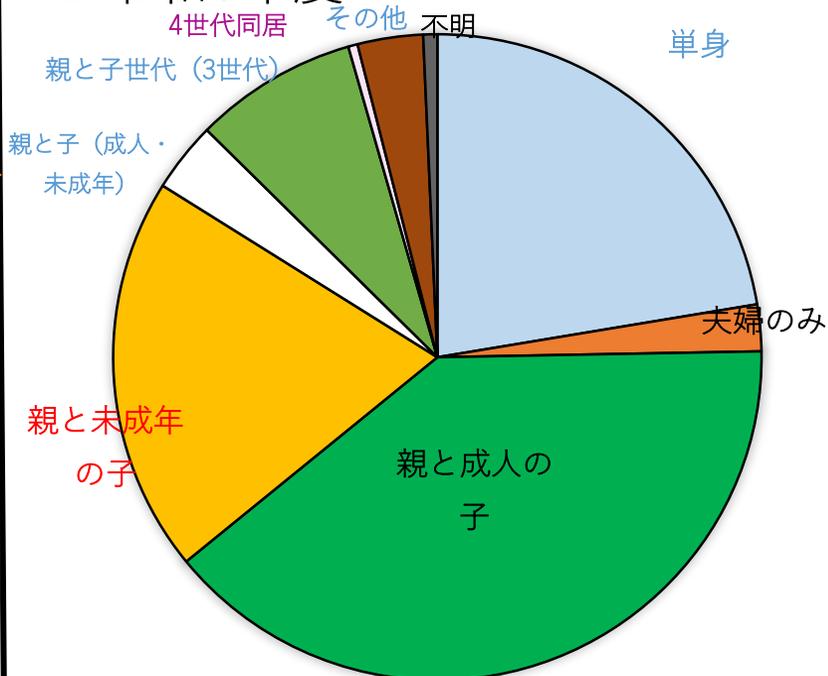
相談支援

## 1. 令和2年度



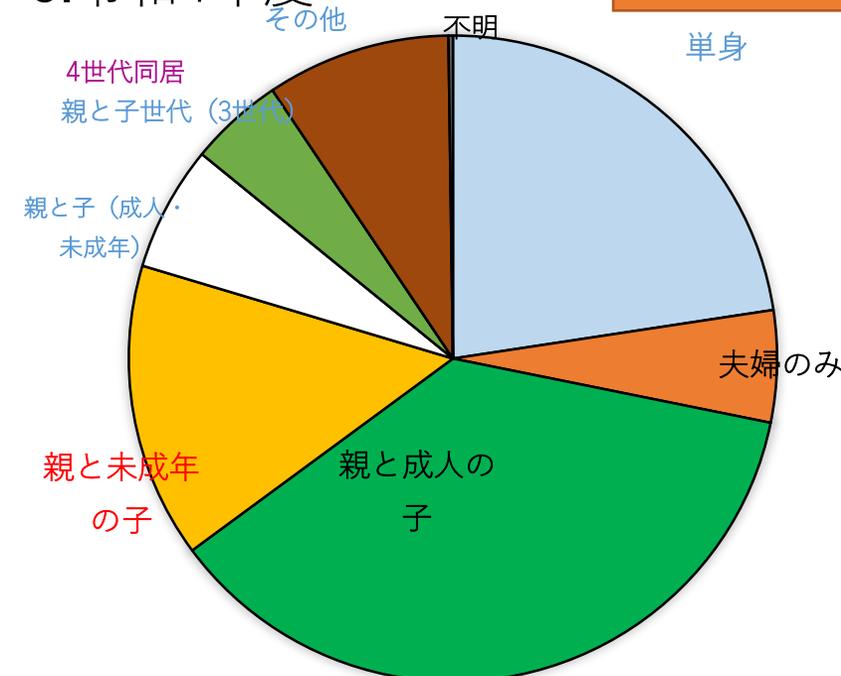
| 世帯区分         | 割合 (%) |
|--------------|--------|
| 単身           | 15.1   |
| 夫婦のみ         | 2.4    |
| 親と成人の子       | 39.2   |
| 親と未成年の子      | 20.1   |
| 親と子 (成年・未成年) | 3.9    |
| 親と子世代 (3世代)  | 12.1   |
| 4世代同居        | 1.1    |
| その他          | 5.6    |
| 不明           | 0.6    |

## 2. 令和3年度



| 世帯区分         | 割合 (%) |
|--------------|--------|
| 単身           | 22.4   |
| 夫婦のみ         | 2.3    |
| 親と成人の子       | 39.4   |
| 親と未成年の子      | 19.8   |
| 親と子 (成年・未成年) | 3.5    |
| 親と子世代 (3世代)  | 8.2    |
| 4世代同居        | 0.5    |
| その他          | 3.3    |
| 不明           | 0.7    |

## 3. 令和4年度



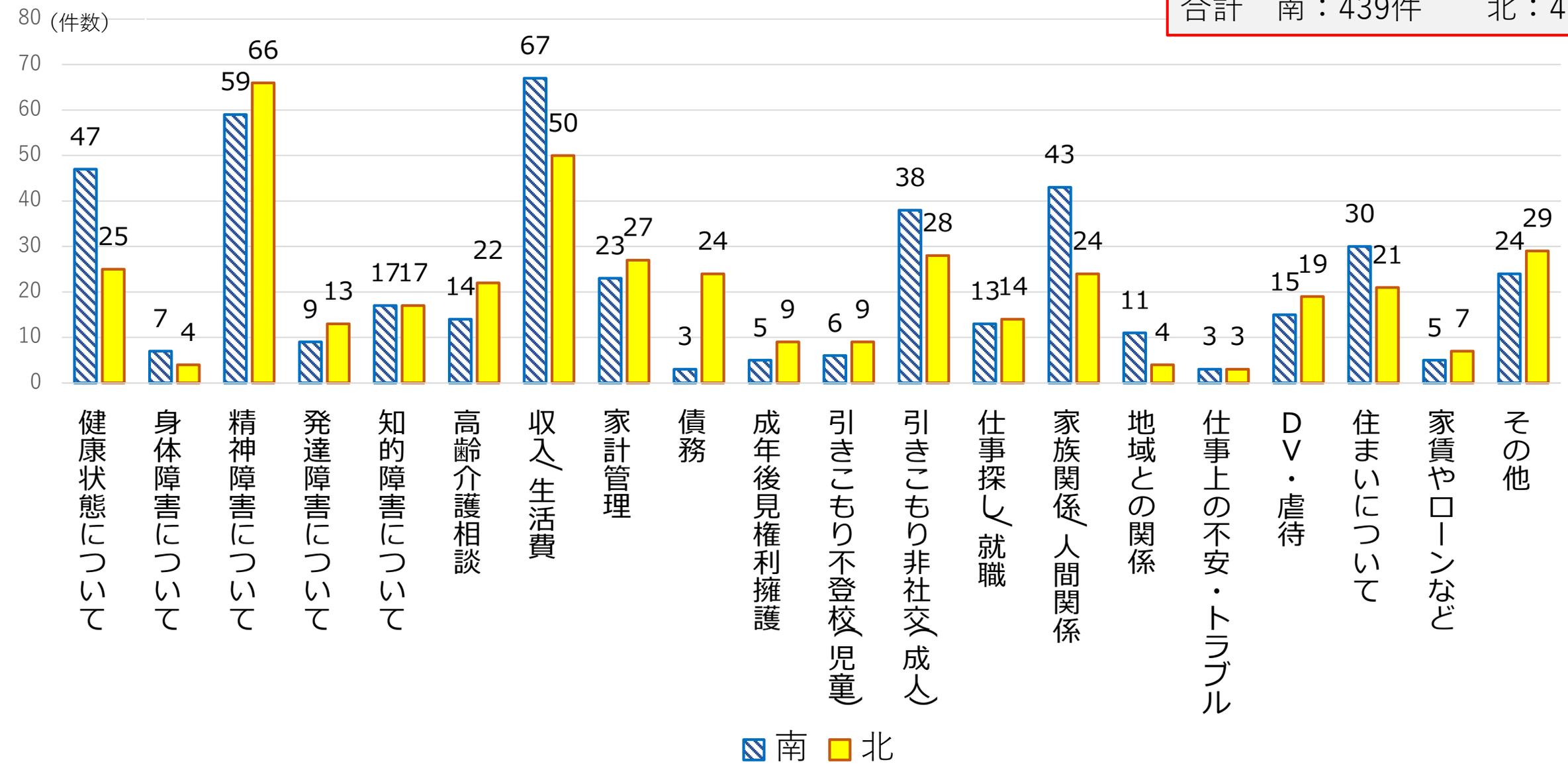
| 世帯区分         | 割合 (%) |
|--------------|--------|
| 単身           | 22.6   |
| 夫婦のみ         | 5.6    |
| 親と成人の子       | 36.7   |
| 親と未成年の子      | 14.8   |
| 親と子 (成年・未成年) | 6.3    |
| 親と子世代 (3世代)  | 4.7    |
| 4世代同居        | 0.0    |
| その他          | 9.2    |
| 不明           | 0.2    |

# 相談種別 (R4年度)

初回相談件数 (情報提供のみ含む 重複あり)

相談支援

合計 南：439件 北：415件

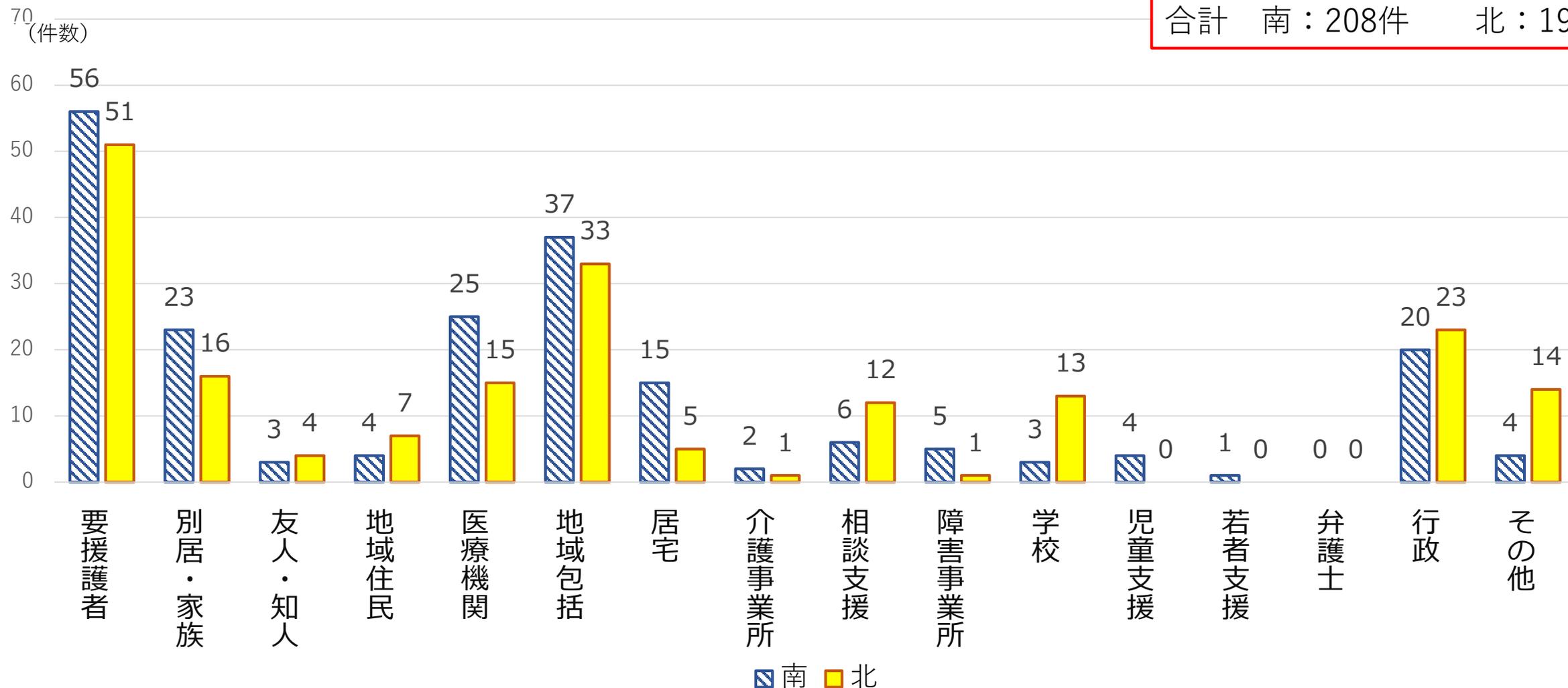


# 相談経路(R4年度)

新規要援護世帯の相談元件数（重複あり）

相談支援

合計 南：208件 北：195件



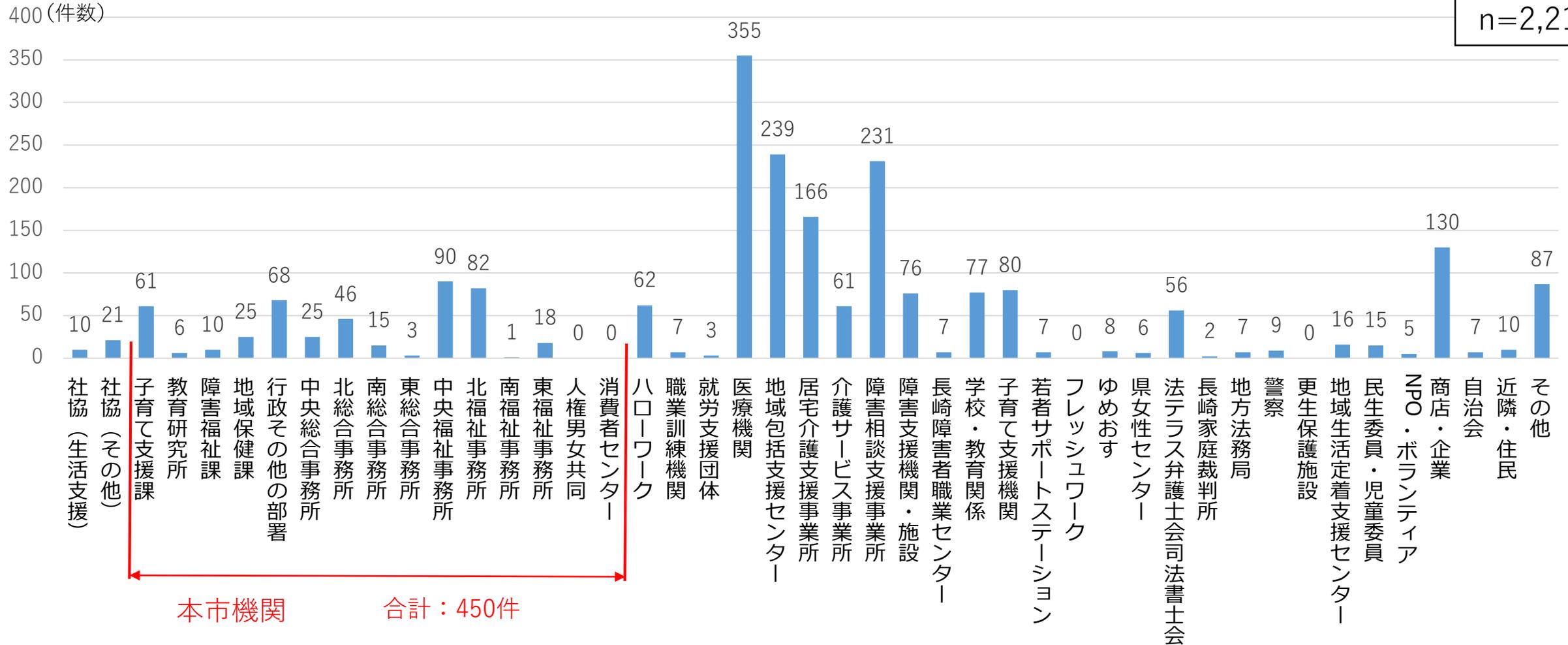
- ・南・北両多機関の合計で見ると、「要援護者」、「地域包括支援センター」、「行政」の順番で相談が多い。
- ・南・北両多機関とも要援護者、地域包括支援センターからの相談が多い傾向にある。

# 連携先（R4年度）

継続要援護世帯を支援した際の連携先件数（重複あり）

相談支援

n=2,210



- ・本市機関に次いで、医療機関や地域包括支援センターとの連携が多い。
- ・障害者相談支援事業所、学校・教育関係とも連携があり、多世代・多分野にわたる課題を抱えた世帯への支援として、幅広い機関との連携を行っている。
- ・生活困窮に至る債務などの課題を抱えた世帯も多く、弁護士・司法書士との連携も多い。

## 相談内容（複合課題含）

|    | 相談分野<br>(令和3年度)   | 相談分野<br>(令和4年度)   |
|----|-------------------|-------------------|
| 1位 | 障害のみ※<br>(23.36%) | 障害のみ※<br>(28.61%) |
| 2位 | 高齢・障害<br>(16.82%) | 高齢・障害<br>(20.11%) |
| 3位 | 高齢のみ<br>(14.02%)  | 生活困窮のみ<br>(8.50%) |

※障害疑いを含む

## 支援期間など

相談支援

|                                 |                          |
|---------------------------------|--------------------------|
| 前年度以前からの<br>継続ケース数              | (南) 37家族<br>(北) 27家族     |
| 最長支援期間<br>(令和4年度末時点の<br>支援中ケース) | (南) 6年7ヶ月<br>(北) 2年9ヶ月   |
| 全ケースの課題数<br>(平均)                | (南) 5.53課題<br>(北) 5.91課題 |
| 前年度からの継続支援ケース<br>の課題数(平均)       | (南) 5.54課題<br>(北) 6.30課題 |

## 代表的な複合課題（353世帯）

| 8050  | ダブルケア | 障害の疑い | ゴミ屋敷 | その他   |
|-------|-------|-------|------|-------|
| 23.8% | 4.0%  | 27.8% | 4.8% | 39.7% |